

平成25年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇 上場取引所 東  
 コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島 美佐夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 須浪 薫 (TEL) 03-5625-4344  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月5日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第1四半期の連結業績 (平成24年7月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第1四半期	1,118	10.6	△3	ー	△1	△15.7	△11	△9.7
24年6月期第1四半期	1,011	1.9	0	△99.2	△2	ー	△12	ー

(注) 包括利益 25年6月期第1四半期 △9百万円(△32.2%) 24年6月期第1四半期 △14百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第1四半期	△532.82	ー
24年6月期第1四半期	△576.99	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第1四半期	2,371	590	21.8
24年6月期	2,309	637	24.6

(参考) 自己資本 25年6月期第1四半期 517百万円 24年6月期 567百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	ー	0.00	ー	1,775.00	1,775.00
25年6月期	ー				
25年6月期(予想)		0.00	ー	1,580.00	1,580.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想 (平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,500	19.4	100	184.2	100	225.4	50	ー	2,394.29
通期	5,100	15.0	210	36.2	210	35.4	110	△11.0	5,267.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年6月期1Q	25,380株	24年6月期	25,380株
② 期末自己株式数	25年6月期1Q	4,497株	24年6月期	4,497株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年6月期1Q	20,883株	24年6月期1Q	21,346株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られており、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、欧州債務危機や長期化する円高などから依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社は、このような状況の中、中期経営計画の達成に向けてグループ一丸となって取り組んでおります。全社基本方針として新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上拡大、徹底的な経費削減を推進してまいりました。この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,118,650千円(前年同期比10.6%増)、営業損失は3,286千円(前年同期は212千円の利益)、経常損失は1,997千円(前年同期は2,369千円の損失)、四半期純損失は11,126千円(前年同期は12,316千円の損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### (生花祭壇事業)

生花祭壇事業の売上高は、730,661千円(前年同期比4%減)となりました。経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、葬儀業の平成24年7月から平成24年8月までの売上高は90,981百万円(前年同期比1.1%減)、取扱件数は65,616件(前年同期比2.8%増)と金額ベースでは減少、件数ベースで増加傾向にあります(同調査は、平成24年1月分より葬儀業において、一部調査対象の追加等が行われており、平成23年12月以前の数値はリンク係数で除した数値で前年比較を行っております)。このような状況の中、前述の全社基本方針を徹底した結果、営業利益は76,888千円(前年同期比60.1%増)となりました。

#### (生花卸売事業)

生花卸売事業の売上高は、216,062千円(前年同期比8.6%増)となりました。東京都中央卸売市場「市場統計情報」(平成24年9月)によると、平成24年7月から平成24年9月までの切花累計の数量は264百万本(前年同期比1.3%減)、金額では14,772百万円(前年同期比6.4%減)となっております。当社では、前述の全社基本方針を徹底した結果、売上数量、売上金額ともに増加傾向にありましたが、当事業が属する花卉業界におきましても価格競争が激しく、営業利益は33,997千円(前年同期比25.7%減)となりました。

#### (ブライダル装花事業)

ブライダル装花事業の売上高は60,762千円(前年同期比19.4%増)となりました。結婚式場業は少子化と晩婚化の影響を受けており、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によると、平成24年6月から平成24年8月までの結婚式場業の売上高は28,719百万円(前年同期比1.6%減)、取扱件数は9,927件(前年同期比4.5%減)と減少傾向にあります。ブライダル装花事業を請け負う連結子会社の株式会社One Flowerにおいて、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客における当社への発注シェアアップによる売上アップにより売上高、売上総利益ともに改善し、営業損失は1,036千円(前年同期は4,291千円の損失)となりました。

(土木・建設事業)

土木・建設事業は熊本市内及びその近郊にて事業をおこなっております。熊本県内の近年の工事の内容を見ると民間発注工事の落ち込みが著しく、公共工事は微増であります。熊本県は火山、白川、緑川と大きな河川があり、自然災害に備える維持、修繕工事は今後暫く堅調に推移をするものと思われま  
す。また、公共工事の特性上、工事の発注・完成時期が3月頃に集中し、9月頃までは閑散時期にあた  
ります。この結果、土木・建設事業の売上高は66,867千円、営業損失は10,363千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業は、システム開発事業を行っております。売上高は44,296千円、営業損失は9,721千円  
となりました。当事業は、葬儀関連会社に対する基幹システム、名札書きシステム及びモバイル端末を  
用いた電子カタログや建築事業者に対するCADシステムの開発、納品を行っております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ62,176千円増加し2,371,333千円と  
なりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ71,623千円増加し、1,280,888千円となりました。  
これは主に現金及び預金の増加によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ9,446千  
円減少し1,090,445千円となりました。これは主に、有形固定資産における減価償却によるものであり  
ます。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ109,211千円増加し、1,780,485千円と  
なりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ7,489千円減少し、962,783千円となりました。これ  
は主に、1年内返済予定の長期借入金と未払法人税等の減少によるものであります。固定負債は、前連  
結会計年度末に比べ101,723千円増加し、817,702千円となりました。これは主に、長期借入金の増加に  
よるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ47,036千円減少し、590,847千円と  
なりました。これは主に、配当金の支払いによる利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年6月期の第2四半期累計期間及び通期業績予想につきましては、平成24年8月10日発表の  
「平成24年6月期決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	528,677	633,835
受取手形及び売掛金	464,480	429,859
完成工事未収入金	108,996	87,244
商品	5,452	5,883
仕掛品	1,225	2,981
原材料及び貯蔵品	20,671	12,149
未成工事支出金	62	—
その他	88,548	118,375
貸倒引当金	△8,849	△9,440
流動資産合計	1,209,265	1,280,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	439,077	423,719
減価償却累計額	△173,044	△163,091
建物及び構築物(純額)	266,032	260,628
工具、器具及び備品	203,510	183,242
減価償却累計額	△141,412	△126,327
工具、器具及び備品(純額)	62,098	56,915
土地	298,977	298,977
その他	142,206	151,039
減価償却累計額	△62,356	△69,904
その他(純額)	79,849	81,134
有形固定資産合計	706,958	697,656
無形固定資産		
のれん	74,384	71,728
その他	7,525	11,108
無形固定資産合計	81,910	82,837
投資その他の資産		
その他	352,465	349,860
貸倒引当金	△41,442	△39,908
投資その他の資産合計	311,023	309,951
固定資産合計	1,099,891	1,090,445
資産合計	2,309,157	2,371,333

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	106,550	116,003
短期借入金	158,890	198,890
1年内返済予定の長期借入金	334,072	319,712
未払法人税等	38,995	19,123
賞与引当金	1,260	13,007
その他	315,525	296,047
流動負債合計	955,294	962,783
固定負債		
社債	65,000	55,000
長期借入金	604,773	718,617
退職給付引当金	23,552	23,148
その他	22,654	20,936
固定負債合計	715,979	817,702
負債合計	1,671,274	1,780,485
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	213,240	213,240
資本剰余金	133,240	133,240
利益剰余金	389,589	341,395
自己株式	△161,503	△161,503
株主資本合計	574,565	526,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,556	1,586
為替換算調整勘定	△8,241	△10,734
その他の包括利益累計額合計	△6,684	△9,148
少数株主持分	70,002	73,624
純資産合計	637,883	590,847
負債純資産合計	2,309,157	2,371,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
売上高	1,011,127	1,118,650
売上原価	860,165	903,008
売上総利益	150,961	215,642
販売費及び一般管理費	150,748	218,929
営業利益又は営業損失(△)	212	△3,286
営業外収益		
受取利息	144	247
受取地代家賃	2,625	2,975
保険返戻金	—	1,788
為替差益	1,516	—
その他	824	3,999
営業外収益合計	5,111	9,010
営業外費用		
支払利息	2,597	4,265
貸倒引当金繰入額	3,500	—
不動産賃貸費用	1,325	993
為替差損	—	1,523
その他	270	938
営業外費用合計	7,693	7,721
経常損失(△)	△2,369	△1,997
特別損失		
固定資産除売却損	11,585	5,774
その他	—	472
特別損失合計	11,585	6,246
税金等調整前四半期純損失(△)	△13,954	△8,244
法人税、住民税及び事業税	10,876	△60
法人税等調整額	△10,138	△3,171
法人税等合計	738	△3,232
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,693	△5,012
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,376	6,114
四半期純損失(△)	△12,316	△11,126

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△14,693	△5,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	29
為替換算調整勘定	0	△4,986
その他の包括利益合計	0	△4,956
四半期包括利益	△14,692	△9,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,316	△13,590
少数株主に係る四半期包括利益	△2,375	3,621

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成23年7月1日至平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	生花祭壇事業	生花卸売事業	ブライダル 装花事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	761,313	198,936	50,877	1,011,127	—	1,011,127
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	236,161	2,461	238,623	△238,623	—
計	761,313	435,098	53,339	1,249,750	△238,623	1,011,127
セグメント利益又は損 失(△)	48,038	45,765	△4,291	89,511	△89,298	212

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△89,298千円には、セグメント間取引消去489千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89,787千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	生花祭壇 事業	生花卸売 事業	ブライダル 装花事業	土木・建設 事業	計			
売上高								
外部顧客への売 上高	730,661	216,062	60,762	66,867	1,074,354	44,296	—	1,118,650
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	194,044	1,851	—	195,895	—	△195,895	—
計	730,661	410,107	62,613	66,867	1,270,250	44,296	△195,895	1,118,650
セグメント利益又 は損失(△)	76,888	33,997	△1,036	△10,363	99,485	△9,721	△93,050	△3,286

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム開発事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△93,050千円には、セグメント間取引消去1,250千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△94,300千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。